

(参考資料)

市の取組における
まちづくり点検状況

能代市

目 次

1	輝きとぬくもりのまち	
(1)	コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	1
(2)	学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	2
(3)	地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	4
(4)	次代を担う子どもの成長を支える学校教育	5
(5)	子どもも大人も心と体の健康づくり	6
(6)	地域で活躍する元気な高齢者	8
(7)	地域で社会で自立する障害者	10
(8)	ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	12
(9)	だれもが気軽に楽しめるスポーツ	14
(10)	認め合い支え合う社会づくり	16
2	元気とうるおいのまち	
(1)	環境を核とした活力ある産業創出	17
(2)	雇用を産み出す企業立地	19
(3)	力強く持続する農業	20
(4)	山・川を生かす林業・木材産業・水産業	22
(5)	まちのにぎわいをつくり出す商業	24
(6)	豊かな自然とその恵みを活かす観光	25
(7)	自然と共生し地域で支える環境保全	26
(8)	資源を大切に社会を持続できる衛生環境	27
3	安全と安心のまち	
(1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制	28
(2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	30
(3)	効果的で調和のとれた土地利用	32
(4)	快適で暮らしやすい住環境	33
(5)	安心でき健康を保てる医療体制	35
(6)	不安のない生活を支える社会保障制度	36
(7)	効率的で住民サービスに資する行財政基盤	37

【市民協働会議と評価が異なる項目】	協働会議	市の点検	(ページ)
No.12 耐震基準を満たす学校数	横ばい	順調	5
No.29 文化財保護協会の会員数	横ばい	不調	13
No.35 一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合	横ばい	不調	16
No.41 有効求人倍率	不調	横ばい	19
No.42 新規高卒者の就職内定率	不調	横ばい	19
No.57 米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は他に誇れると思う市民の割合	横ばい	不調	26

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	1	輝きとぬくもりのまち
政策	(1)	コミュニティで支え合う特色ある地域づくり
めざす姿や状態	①	ボランティアなどの活動をしやすい環境があり、情報や目標を共有できて交流や連携が進むこと。
—評価の目安— (^~^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	自治会や町内会などの活動が活発になり、地域の課題解決や、地域資源を活かした身近なまちづくりにつながること。
	③	普段から地域で交流や協力、支え合いがあり、地域コミュニティが良好であること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(-_-) 横ばい	1	自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (市民活動参加意欲)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	H19	37.8%	H20	39.3%	H21	37.9%	H22	39.3%	H23	39.3%	H24	50.0%	<p>福祉分野のボランティアをはじめ、除雪ボランティアや学校支援ボランティアなど、さまざまなボランティア活動が広まっており、市民活動への参加意欲も高まりつつある一方で、自治会・町内会主催行事への参加者が、ある程度固定されていることも想定されるため、結果的に横ばいに推移したのではないかと考えられる。</p>	<p>市民活動への参加意欲の高まりを、地域づくりや地域コミュニティの再生に活かせるような取組を進める必要がある。</p> <p>また、自治会・町内会主催行事への参加促進を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民へのボランティア情報の発信や、団体間の連携のための仕組みの検討。 市民活動を支援するための(仮称)市民活動支援センターの設置。
年度	割合																
H19	37.8%																
H20	39.3%																
H21	37.9%																
H22	39.3%																
H23	39.3%																
H24	50.0%																

(^~^) 順調	2	ボランティアセンター登録者数															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (ボランティアセンター登録者数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>5,148 人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>5,243 人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>5,641 人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5,641 人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>5,641 人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>6,000 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録者数	H19	5,148 人	H20	5,243 人	H21	5,641 人	H22	5,641 人	H23	5,641 人	H24	6,000 人	<p>福祉分野のボランティアをはじめ、除雪ボランティアや学校支援ボランティアなど、さまざまなボランティア活動の広まりを受け、順調に推移している。</p> <p>高齢化、核家族化などの進行により、家庭機能が低下し、近隣社会で助け合いの人間関係が希薄に成りつつある中、人と人との絆を生み出すボランティア活動への関心の高まりが、登録者数の増加につながってきているのではないかと考えられる。</p>	<p>ボランティアが活動しやすい環境づくりや、情報や目標を共有して交流・連携できる仕組みづくりを進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア登録者が活動しやすい環境づくりや、交流・連携のための仕組みの検討。 ボランティア同士の情報交換の場の確保や、ホームページ・メールマガジンでの情報発信の検討。
年度	登録者数																
H19	5,148 人																
H20	5,243 人																
H21	5,641 人																
H22	5,641 人																
H23	5,641 人																
H24	6,000 人																

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

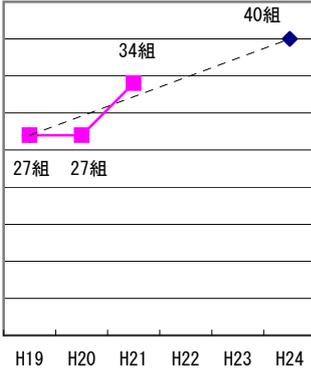
基本目標	1	輝きとぬくもりのまち
政策	(2)	学び合い高め合って地域に活かす生涯学習
めざす姿や状態	①	学べる機会があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かせること。
—評価の目安— (^-) 順調 (-_) 横ばい (>_) 不調	②	体験学習などを通じて、親子や地域住民の交流が深まり、人づくりや地域づくりにつながること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(-_) 横ばい	3	知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>22.4% 19.0% 19.5% 25.0%</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>学んだ成果を地域で活かそうとしている市民の割合が、年度によって多少の変動はあるものの、基準値からは若干の増加となっている。</p> <p>これは、まちづくり関連事業や講座開催等の取組が、少しずつではあるが成果につながっているのではないかと考えられる。</p>	<p>今後も引き続き、学んだ成果を地域づくりに活かせることを意識した取組を進めていく必要がある。</p>	<p>・地域づくり、まちづくりなどの活動の拠点となる場の確保。</p>

(^-) 順調	4	自主学習グループ数（公民館登録）	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>276団体 285団体 257団体</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>自主学習グループは順調に増えている。</p> <p>これは、中央公民館や地区公民館で開設している「市民学校」などにおいて、地域の課題を取り上げた学習活動の取組等が、講座終了後の自主学習グループの結成につながったものと考えられる。</p>	<p>自主学習グループが増えることで、さまざまな活動の活発化につながり、地域づくりに活かされていくことになる。</p> <p>今後は、グループ同士の連携を深め、より大きな効果を生み出せるような仕組みづくりが課題となる。</p>	<p>・グループ同士の連携が深まる仕組みの検討。</p>

(^-) 順調	5	自主学習グループ会員数（公民館登録）	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>4,529人 4,500人 4,249人</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>自主学習グループ会員数が目標値を上回った。</p> <p>これは、自主学習グループ数の増加と同様の要因であると考えられる。</p>	<p>今後は、若い人の学習グループへの加入や新グループの結成等をいかに促していくかが課題となる。</p>	<p>・若い人のニーズに即した講座開設等の検討。</p>

(^^) 順調	6	生涯学習指導者、ボランティア登録者数												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
 <table border="1" data-bbox="159 190 470 571"> <caption>生涯学習指導者、ボランティア登録者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数 (組)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>		年度	登録者数 (組)	H19	27	H20	27	H21	34	H24	40	<p>生涯学習ボランティアは、自らの学びの成果を活かして、他の学習者の活動に指導や助言等を行うことで支援することを趣旨としている。</p> <p>登録者数は若干増加したものの、指導者等には相応の経験と知識が必要とされるため、指導する側と受ける側のマッチングが難しい面もある。</p>	<p>学んだ成果を地域づくりに活かしていくことができるように、指導する側と受ける側のマッチングを意識した仕組みづくりが課題となっている。</p> <p>また、独自の認証制度のような仕組みについても、今後の検討課題としてとらえている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館などの各種講座において、リーダーを育成する講座や、修了者を講師にした講座を実施するなど、学んだ成果を地域に活かす仕組みを意識した取組の推進。 ・独自の認証制度のような仕組みの検討。
年度	登録者数 (組)													
H19	27													
H20	27													
H21	34													
H24	40													

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	1	輝きとぬくもりのまち
政策	(3)	地域で育み社会で支える子育て・子ども支援
めざす姿や状態	①	安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。
-評価の目安- (^-^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	地域や社会で子どもを守り育てる意識が浸透し、子育てを支え合えること。
	③	地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^-^) 順調	7	子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>25.5% 30.6% 30.6% 30.0%</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>保育所・幼稚園での地域活動事業、子育て支援センターが地域に出向いて行う事業、家庭・地域・企業・行政が一体となって全市的に子育て支援に取り組む「めんちほこ事業」等の実施により、地域での交流が広まり、順調に推移していると考えられる。</p>	<p>各事業を継続して実施していくとともに、めんちほこ事業の協賛企業数・カード発行数の拡大を図る。</p>	<p>・私立保育所・私立幼稚園への事業補助を継続。 ・めんちほこ事業の協賛企業の募集、ホームページでの紹介、イベントでのPR等を継続。</p>

(^-^) 順調	8	ファミリーサポートセンター会員登録数	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>12人 108人 100人</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>広報紙への掲載、保育所・幼稚園へのチラシ配布、委託先での勧誘などにより周知が進んでおり、順調に推移している。</p>	<p>サービスを提供する会員の安定確保とともに、毎年度の対象児童の入替に伴う依頼会員の増減にも配慮していく必要がある。</p>	<p>・ポスターの掲示、案内チラシの配布など、委託先と連携した取組を継続。</p>

(^-^) 順調	9	ファミリーサポート事業利用件数	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>1件 14件 50件</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>依頼会員は、日常的な利用よりも、緊急時の利用を想定して入会している人が多いと考えられる。 また、提供会員に安心して子どもを預けられるか、依頼会員が慎重になっていることも考えられる。</p>	<p>提供会員が事業を身近に感じて気軽に利用できるよう、市が主催する会議等での提供会員の託児サービスを継続して実施していく。</p>	<p>・提供会員の確保を図りながら、依頼会員に対してはリフレッシュなどで気軽に利用できることや、提供会員の受講内容等を周知するなど、委託先と連携した取組を継続。 ・サポーター講習で修得した技能の保持にもつながるため、提供会員への託児サービス依頼を継続。</p>

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	1	輝きとぬくもりのまち
政策	(4)	次代を担う子どもの成長を支える学校教育
めざす姿や状態	①	子どもがより良い環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。
—評価の目安— (^-^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	学校が地域の活動の場として開かれ、地域と連携した教育が進むこと。
	③	子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人との関わり方、社会との関わり方を身に付けられること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^-^) 順調	10	子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>47.8%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>48.7%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>53.6%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	H19	47.8%	H20	48.7%	H21	53.6%	H22	50.0%	H23	50.0%	H24	50.0%	<p>ふるさと学習をはじめ、学校でのさまざまな体験活動により、地域の理解や人々との交流につながっており、地域住民からも学校の活動や行事への積極的な参加・協力により、子どもの安全面の気配りや目配りがなされている。</p> <p>また、特別支援教育支援員や心の教室相談員の配置により、児童生徒一人ひとりの実態に合った対応を行うことで、安心して生活や学習ができる環境が整ってきていると考えられる。</p>	<p>ふるさと学習を充実し、地域住民や企業・団体との活動や交流など地域行事への参加を促すとともに、子どもの安全面を確保しながら、登下校時のあいさつなど地域住民との声かけの場面を増やす。</p> <p>また、特別支援教育支援員や心の教室相談員の活用を促進し、子どもたちの悩みなどに対応する。</p> <p>全国学力・学習状況調査については、調査結果の分析と対策を情報提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアを継続して実践。 ・特別支援教育支援員の確保。 ・全国学習状況調査の結果を分析し、今後の学校・家庭・地域住民の連携や協力のあり方について、情報を共有できる機会を確保。
年度	割合																
H19	47.8%																
H20	48.7%																
H21	53.6%																
H22	50.0%																
H23	50.0%																
H24	50.0%																

(^-^) 順調	11	耐用年数を超える学校数															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (耐用年数を超える学校数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0校</td> </tr> </tbody> </table>	年度	学校数	H19	5校	H20	2校	H21	2校	H22	2校	H23	2校	H24	0校	<p>耐用年数を超える学校5校のうち3校は平成20年3月に閉校し、残り2校は平成21年度に建設工事が終了、平成22年度中に供用開始を予定している。</p>	<p>2校の完成により、耐用年数を超える学校はなくなる。</p>	<p>(順調に推移しているので取組を維持。)</p>
年度	学校数																
H19	5校																
H20	2校																
H21	2校																
H22	2校																
H23	2校																
H24	0校																

(^-^) 順調↑	12	耐震基準を満たす学校数															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (耐震基準を満たす学校数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>12校</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>14校</td> </tr> </tbody> </table>	年度	学校数	H19	12校	H20	12校	H21	12校	H22	12校	H23	12校	H24	14校	<p>グラフには表れていないが、平成21年9月に1校の耐震補強工事が完了し、現在は13校となった。</p> <p>また、平成21年度に3校で耐震診断(2次診断)と耐震補強工事実施設計を行うこととしている。この3校の耐震補強工事により、非木造校舎全ての小中学校で耐震基準を満たすことになる。</p> <p>なお、木造校舎については、建設中の2校の完成により、全ての小学校で耐震基準を満たすことになる。</p>	<p>子どもたちに安全な教育環境を提供するため、計画的に耐震化を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断(2次診断)により、地震による倒壊の危険性等を確認し、状況によっては計画を前倒し。
年度	学校数																
H19	12校																
H20	12校																
H21	12校																
H22	12校																
H23	12校																
H24	14校																

能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

1 政策のめざす姿や状態

基本目標	1	輝きとぬくもりのまち
政策	(5)	子どもも大人も心と体の健康づくり
めざす姿や状態	①	普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられること。
-評価の目安- (^-) 順調 (-_) 横ばい (>_) 不調	②	身近で悩みごとなどの相談ができ、心の健康が保たれること。

2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^-) 横ばい	13	からだが健康だと思う市民の割合															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (からだが健康だと思う市民の割合)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>64.1%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	H19	62.5%	H20	64.1%	H21	62.8%	H22	62.5%	H23	62.5%	H24	70.0%	<p>平成20年度から施行となった特定健診・特定保健指導の周知により、メタボリックシンドローム予防等に関する市民の意識は高まりつつあるが、がん・脳血管疾患・心疾患など生活習慣病の歯止めには至っていないことから、病気による体調不良を感じている人が依然多いのではないかと考えられる。</p>	<p>特定健診・各種がん検診受診による健康確認及び疾病の早期発見・早期治療の啓発を強化していくとともに、特定保健指導・地区健康教育等により、運動・食生活等の良好な生活習慣の必要性についても啓発を継続していく。</p> <p>また、健康づくりサークル会員増加に向けた、良好な生活習慣を継続していくための仲間づくりも支援していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険被保険者の特定健診受診勧奨方法の検討。 ・特定保健指導後の継続支援方法の検討。 ・市民の各種がん検診受診啓発の検討。
年度	割合																
H19	62.5%																
H20	64.1%																
H21	62.8%																
H22	62.5%																
H23	62.5%																
H24	70.0%																

(>_) 不調	14	心が健康だと思う市民の割合															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (心が健康だと思う市民の割合)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>65.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	H19	61.8%	H20	59.6%	H21	58.3%	H22	58.3%	H23	58.3%	H24	65.0%	<p>心の健康については、不況等の社会的環境要因の悪化により個々の心のエネルギーが低下していることに加え、家族から始まる地域・社会の人と人とのつながりの希薄化で心の支えが見つけられず、うつ状態や気分の落ち込みを感じる人が多くなってきていることなどが考えられる。</p>	<p>自治会（町内会）長・民生委員・健康推進員等の地域のキーパーソンとともに自殺予防キャンペーンなどの活動を展開し、地域のつながりを深めていくほか、この活動を職場にも広げ、お互いが支え合える関係を構築していく。</p> <p>また、地域の健康教室等で、生きがいづくりについて啓発を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア組織等との生きがい対策に関する連携。 ・職場での啓発活動。
年度	割合																
H19	61.8%																
H20	59.6%																
H21	58.3%																
H22	58.3%																
H23	58.3%																
H24	65.0%																

(>_) 不調	15	健康づくりサークル会員数															
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (健康づくりサークル会員数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>574人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>563人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>509人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>509人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>509人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>603人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	人数	H19	574人	H20	563人	H21	509人	H22	509人	H23	509人	H24	603人	<p>昭和59年に初めて健康づくりサークルができていたが、メンバーの高齢化に伴い解散するサークルが出てきたことにより、会員数が減少している。</p>	<p>各サークルで健康展などを活用して新規会員の募集を行っていくとともに、今後は特定保健指導修了者の運動習慣継続へ向けた仲間づくりも検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導修了者の運動習慣継続に向けたサークル育成支援。 ・地域ごとの健康づくりサークルの組織化を検討。
年度	人数																
H19	574人																
H20	563人																
H21	509人																
H22	509人																
H23	509人																
H24	603人																

(>_<) 不調	16	がん死亡率（人口10万人対）												
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策											
<table border="1"> <caption>がん死亡率（人口10万人対）推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>死亡率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>412.4</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>407.8</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>412.4</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>367.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	死亡率	H19	412.4	H20	407.8	H21	412.4	H24	367.0	<p>がん死亡率が、秋田県の率を更に上回っていることについては、検診受診による早期発見・早期治療がなされていないことや、発がん要因である喫煙や食生活など生活習慣の悪化が考えられる。</p>	<p>各種がん検診受診による早期発見・早期治療の必要性について啓発を継続していくとともに、禁煙・食生活改善など生活習慣改善を実行に結びつけていくための啓発・支援をしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診対象者の把握と受診勧奨の強化。 ・禁煙・食生活改善・運動習慣等の生活習慣改善対策。 ・医療・保健とタイアップしたがん予防啓発。 	
年度	死亡率													
H19	412.4													
H20	407.8													
H21	412.4													
H24	367.0													

(^~^)^ 順調	17	自殺死亡率（人口10万人対）												
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策											
<table border="1"> <caption>自殺死亡率（人口10万人対）推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>死亡率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>67.4</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>37.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	死亡率	H19	67.4	H20	47.3	H21	38.1	H24	37.1	<p>自殺予防対策として官・民・学が連携し、手探りで考えながらそれぞれの立場で動いてきたことが、悩み苦しむ自殺を考えていた人に、ある程度届いたのではないかと考えられる。</p>	<p>自治会（町内会）長・民生委員・健康推進員等の地域のキーパーソンとともに自殺予防キャンペーンなどの活動を展開していく中で、地域のつながりを深め、弱音を吐くことができ、お互いが支え合える関係を構築していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み苦しみを抱えている人の情報等の把握や、解決支援のための関係部署・関係機関のネットワーク構築。 ・職場を通じた自殺予防啓発。 	
年度	死亡率													
H19	67.4													
H20	47.3													
H21	38.1													
H24	37.1													